



風しん(三日はしか)が はやっています。

風しんについて

主な症状：発疹、発熱、リンパ節の腫れ
 潜伏期間：感染から14～21日
 (平均16～18日)
 感染経路：飛沫(唾液のしぶき)
 予 防 法：予防接種、外出後の手洗い、
 うがい、マスクの着用、
 咳エチケット

■ 問合せ 丹南健康福祉センター Tel 51-0034 保健福祉課 ☎ 47-8007

今年3月ごろから近畿地方を中心に増加していた風しんですが、7月に入り関東地方でも大幅に増加しており、今後福井県でも風しんの流行が広がっていく恐れがあります。

妊娠初期の女性が感染すると、胎児が風しんウイルスに感染し、白内障、難聴、心疾患や発達の遅れなどの障害を持った赤ちゃんが生まれる可能性がありますので注意してください。

！ 風しんの症状が現れたときには…。

学校や仕事を休み、マスクを着用して早めに医療機関を受診しましょう。



！ 風しんの予防にはワクチン(予防接種)が効果的です。

町が行う定期的予防接種(無料)と、それ以外の任意の予防接種(自費)があります。

町が実施している定期的予防接種(無料)

【麻しん風しん混合ワクチン(MR)】

1期・・・1歳

2期・・・小学校就学前の1年間

3期・・・中学1年生相当の年齢(H24年度終了)

4期・・・高校3年生相当の年齢(H24年度終了)

※過去に麻しんおよび風しんにかかったことのある人は、麻しんまたは風しんの単独ワクチンの接種となります。

* 町で行う予防接種の対象となる年齢の方は、なるべく早く接種を済ませましょう。

* 以前、風しんにかかったことがある、風しんの予防接種を受けたことがある、検査で風しんの抗体があると確認できた以外の方で、①妊娠している方の御主人や子ども、同居の家族 ②妊娠希望者または妊娠する可能性の高い方 ③産褥早期の方は、医療機関で任意の予防接種を受けることをご検討ください。

年金のお知らせ

■ 問合せ 武生年金事務所 Tel 23-1124
町民税務課 ☎ 47-8015

みんなで支える 公的年金

(1)世代間扶養の仕組み

公的年金は、個人が納めた保険料を積み立ててその運用益とともに個人に返す(積立方式)のではなく、現在の現役世代の納める保険料によって現在の高齢者の年金給付を賄うという「世代と世代の支え合い」、すなわち世代間扶養の仕組み(賦課方式)により成り立っています。

(2)世代間の給付と負担の関係

公的年金について「払った分が戻ってこないのだから、払っても損するだけ」という声が聞かれることがあります。公的年金が世代間扶養の仕組みであることからすれば、給付と負担の関係のみで世代間の公平・不公平を論じることは適当ではないことに留意する必要があります。

(3)公的年金の5つのメリット

- その1 賃金や物価に応じて給付額をスライド
 - その2 受給権者が亡くなるまで年金を支給
 - その3 その1万が一の場合は、障害・遺族年金を支給
 - その4 給付費などに対する国庫負担が行われること
 - その5 支払った保険料は税制上、所得から全額控除されること(社会保険料控除)
- など、私的年金にはないメリットがあります。私的年金や貯蓄は、公的年金を補完して、個々人の多様な老後生活のニーズを満たす役割を持っており、公的年金を土台として両者を組み合わせて老後の生活資金を確保していくべきものと考えられます。